

発言通告書

発言者氏名	安川健人
発言の会議	令和7年11月27日 本会議
発言の種類	質 疑、一般質問、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、一問一答
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

I 海洋都市よこすかの実現に向けた政策について

(1) 浦賀駅前周辺地区活性化事業について

- ア 再開発後の混雑緩和、特に通勤・通学時間帯における道路の整備や交通手段の確保について、どのような対策を講じていくお考えか。
- イ 整備工事が始まるまでの間、浦賀レンガドックやその周辺を市民活動やイベントに活用する計画はあるのか。
- ウ 再整備後には、同ドックを具体的にどのように利活用する想定か。
- エ 南フランスの港町マルセイユの「ブイヤベース憲章」のように、浦賀の海の文化や食文化を資産として未来へつないでいくための地域ブランド創出について、どのようにお考えか。

(2) 日産自動車追浜工場跡地について

- ア 住友重機械工業との誠実な話しの積み重ねの結果として、浦賀駅前開発が進んだと承知しているが、日産自動車とはどのようなコミュニケーション・話しをしていくのか。9月定例議会以降の進展について、御所見を伺う。

イ 日産自動車追浜工場跡地が市民や地域社会にとって、どのような形で活用されることが理想的であるか、将来的な地域像も含めて、お考えを伺う。

ウ 横須賀の「海洋都市」・「エンターテイメント都市」の魅力を生かした日本が世界に誇れるテーマパークができたら、横須賀復活の切り札のワンピースになると思うが、御所見を伺う。

2 民官連携による個性のあるまちづくりについて

(1) 万代会館について

ア 現在、使用が制限されている万代会館について、市長はどのように評価・認識されておられるか。

イ 旧白洲邸・武相荘や田浦月見台住宅のような民官連携の手法を生かし、万代会館を観光資源や市民活動拠点として再活用に取り組むことはできないか。

ウ 教育委員会の所管を見直し、観光・まちづくりの視点から、民間との協働による再生の道を模索する価値があると考えるが、併せて御見解を伺う。

3 パルクールを活用したフレイル予防と健康習慣づくりについて

(1) パルクールの持つ可能性と、今後も横須賀市として積極的にこのスポーツを推進していく考えについて、御見解を伺う。

(2) うみかぜ公園などに、世代を超えて使用できるパルクール練習器具を設置することについて、御見解を伺う。